

写真短歌



山形 山形新聞 1992年(平成4年)10月25日(日曜日) 山形3 20

ところせましと
珍しいチョウ!!
日本に住む240種すべて収集

リフレクシユ

かれんなチョウの標本を前に黒沼さん

真、變と稀彩色の羽を
持つのもや個体によって微
妙に紋様が異なる。
山形市茶町の団体職
員、黒沼一彦さんの標
本箱は、たまにたまに
珍しいチョウが並んでい
る。

二十年前、子供の夏休
みの手紙にチョウの標本
を作った以来、その美し
さにひかれ、収集を始めた。
休みのたびに県内はど
ろろ、北海道から沖縄まで
出かけ、今では日本に在
る約二百四十種すべてを集

めた。
国内では飽きたらず、海
外にも直接、兄を連ね、マ
レーシアとインドで珍種を
採りかた。そのほか、ヒ
ンヤ、インドなどのチ
ョウも収集し、標本箱は百
四十にもなっている。

インドに行った時は高山
帯に育しみなが、「バル
ナシユス」というアゲハ
チョウの一種を採取に成功
した。「南方のチョウには
稀彩色の美しいが、国内も
いまでも休日になると、
書がちらつくまで、野山で
チョウを追い回している

魅力です」二百種の標本を
見せて満足。
また、チョウの標本だけ
には飽きたらず、ネクタイ
やハンカチなどの小物も手
ツク柄をデザイン。カフス
ボタンやネクタイピンが同
じ柄という特注品も。「初
めは家族もあきれ顔でした
が、最近では妻もチョウの
小物を見つけたら買ってき
てくれるようになったまし
たと笑う。

亡き母の
形見の日記に
挿まれし
彼岸の兄の
記事懐かしき

が、最近では収集はなげん
シミチョウなどの飼育も手
掛けている。種類はどの食
性に合わせ、植物や木の葉
を集める姿が入れどろ。
「チョウの静かなる

写真撮影地：山形市自宅
短歌：令和3年4月19日付け“やましん歌壇”掲載歌（大滝 保選）